



10月

畜産総合センターよういん通信

平成29年10月

◇畜産フェスタ開催報告

10月14日(土)、毎年恒例の「愛知県畜産フェスタ」を開催し、悪天候の中、約2,300人の方にご来場いただきました。畜産総合センターでの開催は4年ぶりとなりましたが、来場者の方々からは会場での開催を歓迎する声や、毎年楽しみにしているなどの感想をいただき、無事終了することが出来ました。

愛とんのバーベキュー・豚汁・ラフティーの試食には長蛇の列ができ、愛とん弁当及びみかわポークの精肉も早々に完売するなど、消費者のみなさまに3品種の系統豚により生産された豚肉をPRすると共に、そのおいしさを実感していただくことができたと思います。



バーベキュー



ひよことのふれあい



乳製品販売

◆農業総合試験場公開デーが開催されます

11月3日(金・祝)、長久手市の農業総合試験場にて「“いいね!”を見つけよう #農総試公開デー2017」が開催されます。

研究成果の紹介や、農業総合試験場が開発した品種により生産された農畜産物の加工品販売も行われる予定です。

日時：平成29年11月3日(金・祝)9時～14時

内容：各研究室の研究成果紹介

講演会「野生鳥獣の問題を考える」

生産物・加工品の販売、試食アンケート

農業・園芸・鳥獣害相談

ワークショップ(バター作りなど)

研究施設見学(野菜関係施設、実験室等)

※ワークショップ及び研究施設見学は事前に申し込みが必要です。詳細は、愛知県HPをご覧ください。農業総合試験場までお問い合わせください。

○アイリスW3のリーフレットを作成しました

導入農家のみなさまに、新しい系統豚の能力を最大限に引き出して生産していただけるよう、飼養管理の目安を記したリーフレットを作成しました。

基本的な事項ばかりですが、参考にしていただければ幸いです。

※アイリスW3リーフレットより抜粋

アイリスW3の飼養管理の目安

<分娩前>

- 体重が100kg（肉豚出荷するサイズよりほんの少し小さい程度）を超えたら、種豚育成用の飼料に切替え、制限給餌を開始してください。

種豚として必要な資質(体型・生殖器)を、若いうちからじっくり育てるイメージで。

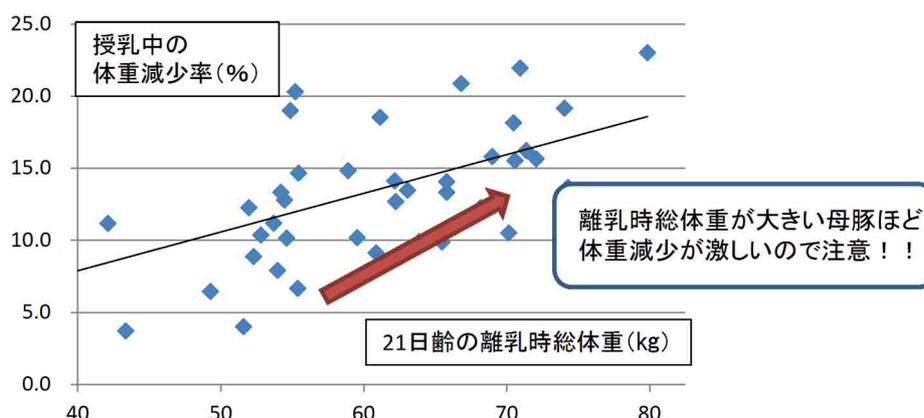
- 初回種付けは8ヶ月齢、140 kg（肉豚出荷するサイズより体格はだいぶ大きい）以上としてください。

フレーム(骨格)をある程度まで大きくすることを意識し、過肥にならないよう気を付けてください。(難産の一因になります)

<分娩後>

- 1腹の子豚離乳時総体重が大きい母豚は、授乳中の体重減少が多い傾向にあるので、母豚の授乳中の飼料摂取量が落ちないように留意して管理し、2産目への影響を少なくするように留意してください。

給餌量と残飼に注意し、母豚の様子と哺乳頭数などに合わせて個体管理を。



(連絡先)

◇畜産総合センター : 0564-21-0201